

# 爪の厚みに応じた装着感

アクトメント (春日部市)

## 切削加工…矯正力と装着性を改善した 巻き爪矯正具の施策開発

ここ10年ほど、事業における医療機器分野の割合が徐々に伸びてきている。その切っ掛けに

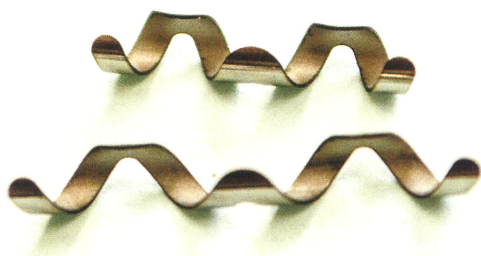
の改善案を取り入れて、さらに使いやすくなったのが今回の補助金で作ったもので

ある。

る。

なったのが、人体の血管などを管腔内部から広げる医療器具「ステント」。金属でできた網目状の筒で、微細加工としなやかさが求められるものだ。

今回のものづくり事業では、爪のステントを手掛けた。2012年に発表された「ネイル・エイド」という商品に埼玉医科大学の築医師から



試作中の「ネイル・エイド」新バージョン

ネイル・エイドは、爪の先に矯正金属をクリップのように装着して、巻き爪(爪の変形)を自分で直せる器具。これは自分で手軽に装着できる上に、形状記憶合金なので効果も出やすく、矯正後の再発防止にも役立つという。ネイル・エイドは現在、世界各地で注目を集め、オーダーも受けている。

爪というのは人によって形状がさまざまで、厚さにしても0.7〜2ミリのくらいと、かなり個人差がある。この厚みの差による装着性と矯正力を改善したのが新バージョンだ。年内には諸準備を終え、2016年には商品化したいと考えている。

### 【株式会社アクトメント】

本社は春日部市南栄町7-15。小川明代表取締役社長。創業は1960年で、線ばね、板ばねの設計、製造、販売からスタートした。長年つちかっただねの加工技術を、90年ごろから形状記憶合金や特殊金属の加工などへと発展させ、ここ10年ほどは医療機器の開発・製造をし、大いに注目されている。